

学校運営協議会議事録

校名	府立 西寝屋川 高等学校
(准)校長名	金沢 加代

開催日時	令和 7年 6月 25日(水) 15:00 ~ 17:00
開催場所	府立西寝屋川高等学校 1階 校長室
出席者(委員)	檜田(摂南大)、福留(寝屋川第八中)、北川(自治会) 荒井(PTA代表)、井上(キャリア)、岡田(同窓会)
出席者(学校)	金沢(校長)、藤井(教頭)、畑(事務長)、中島(首席)
傍聴者	なし
協議資料	・大阪府立西寝屋川高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・令和7年度学校経営計画及び学校評価 ・令和6年度進路状況(43期生) その他資料:西寝屋川高等学校パンフレット、 姉妹校提携の締結年度に係る意向調査の実施について
備考	

議題等(次第順)

- ① 学校運営協議会について
- ② 令和7年度学校経営計画について
- ③ 令和6年度の進路状況について
- ④ 令和10年度以降の入学選抜制度について
- ⑤ 海外との姉妹校交流について
- ⑥ 令和8年度使用教科書の選定手順について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

令和7年度学校経営計画について
【運営協議会委員からの意見】
 ・長時間勤務に関して、教員の減少の中、業務量が変わらないと減少しない。
 ・教員の健康及び、生徒と接する体力維持のためにも、長時間労働は減らさないといけない。
 ・部活動の負担軽減の方策としては何を行っているのか。
 →顧問の複数人配置や、ノークラブデー及び活動制限時間の徹底
 ・部活動の外部委託について、教員のやりがいや、生徒の安全面など考えて検討が必要。
 ・笑顔であいさつする生徒が多く見られた。
 ・本校にたくさんの求人がきている中、定員割れをしている現状はもったいない。未来への生徒に向けたアプローチをもっとした方がよいのではないか。
 ・学校の魅力として、制服や体操服のデザインや、校則の厳しさは重要になってくるのではないかと。もっと生徒が入学したいと思える学校づくりが必要。
 ・先生が楽しく働ける学校に関して、体育祭での先生と生徒の距離が近い感じがある。
 ・調査等の長時間を要する業務が、類似したものも含め府からトップダウンでおいてくるが、なんとか解消できないのか。知事に現状を伝える、改善を促す手立てはないのか。
 ・諸問題の解決のため、1つでも他校と協働して、解決に至る方策を検討してはどうか。

令和6年度の進路状況について
 ・就職ゼミや、オリエンテーション等があり、就職率100%は安心できる。
 ・有名企業や大学等の実績があり、保護者からしても安心できるのではないかと。
 ・幅広い進路先があるのは、魅力的。
 ・就職の離職率の実態はどうか(一般的には新卒離職率は3割程度)。追跡調査はすべきではないか。人数を絞ってする必要はある。
 ・進路指導について、21世紀のキャリア教育とは、就職先を割り当てるだけいいのか、生徒が社会で生き残れるキャリア教育が必要。多様性を生かしたキャリア教育を考えるフェーズにあるのではないかと。

【その他】
 ・令和10年度以降の入学選抜制度について、本校はどうやって生き残っていくかを考える必要がある。
 ・選抜タイプで内申書重視であれば、いいアピールになり得り、他校との差別化も図れるのではないかと。
 ・海外との姉妹校交流について、生徒同士の交流だけでなく、教員同士の交流や学校同士の交流ができればいいのではないかと。
 ・令和8年度の教科書選定について、選定理由は次回会議でお示しできる。
 ・地域の中の高校という視点から、今後の発展を考えるのも大事。
 ・広いグラウンド等があるので、積極的に中学校に貸したり、合同での練習を検討してはどうか。
 ・本委員会で本校の強い強みを今後に向けて考えていきたい。

次回の会議日程

日時	令和 7年 11月頃
会場	府立西寝屋川高等学校1階校長室